

◇X線顕微鏡による機能の可視化と多次元情報の活用◇

主催：日本鉄鋼協会 評価・分析・解析部会「X線顕微鏡の鉄鋼分野への応用」フォーラム

共催：高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所・物質化学グループ

内閣府 SIP 国プロ「革新的構造材料」先端計測拠点・KEK

電池や触媒に代表されるように、材料の階層構造や様々な不均一性(heterogeneity)が、材料全体の機能を決めているケースは非常に多い。さらに材料の不均一性は作りたての材料の特性を決めるだけでなく、実環境で使用する際の寿命や信頼性をも左右する。そのため、機能発現のための材料設計やその機能の経時変化(劣化、寿命)の制御のためには、そうした材料中の階層構造や不均一性を理解することが必要になる。その理解ためのアプローチ法のひとつとして、様々なX線顕微鏡による観察技術が注目され、様々な材料系に利用されている。IMSS/PFでもこうした分野での研究展開に注力している。

本研究会では、当該分野で活躍されている先生方に研究をご紹介頂くとともに、IMSS/PFで取り組みの現状を紹介し、今後の展望について議論したい。

日 時：2018年8月9日(木)～8月10日(金)

場 所：

8/9 研究会(12:30～18:00 + 技術交流会)：つくば国際会議 4F 405号室予定

<https://www.epochal.or.jp/access/index.html>

8/10 見学会(10:00～12:00)：高エネルギー加速器研究機構 放射光施設

<https://www.kek.jp/ja/Access/>

定員数：50名程度

申込期限：2018年8月3日(金)15時(定員に余裕があれば当日受付可)

参加費：無料(技術交流会：3000円)

申込・問い合わせ先：<http://pf-form.kek.jp/xafs-ct-workshop/>

FAX: 029-864-3202 (高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所 木村正雄)